

社会問題 研究を発表

豊田西高 耳栓効果や少年犯罪



耳栓の防音効果について説明する
3年生たち＝豊田市民文化会館で

豊田西高校の三年生が二十六日、豊田市民文化会館で、社会問題など自ら選んだ課題について、四月から取り



組んできた研究の成果を、一、二年生や教諭らに発表した。

課題を決めて解決策を探る「課題研究」の

授業の一環。三年生三百五十六人が文系七十九、理系五十のグループに分かれ、高齢社会や犯罪、歴史、流行、健康などさまざまな分野で、調査や研究してきた内容を説明した。耳栓の防音効果や、振り込め詐欺の被害実態などのほか、就職活動での第一印象とリクルートスーツの関係性を

考察した生徒もいた。少年犯罪について調べた秋山潤哉さん（一七）と丸山悟さん（一七）は、少年院を出所後の再犯率が高いと指摘。秋山さんは「少年法の改正や更生システムの見直しを進めるべきだと思う」と話した。

（森本尚平）

平成29年9月27日（水） 中日新聞より

「この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています」